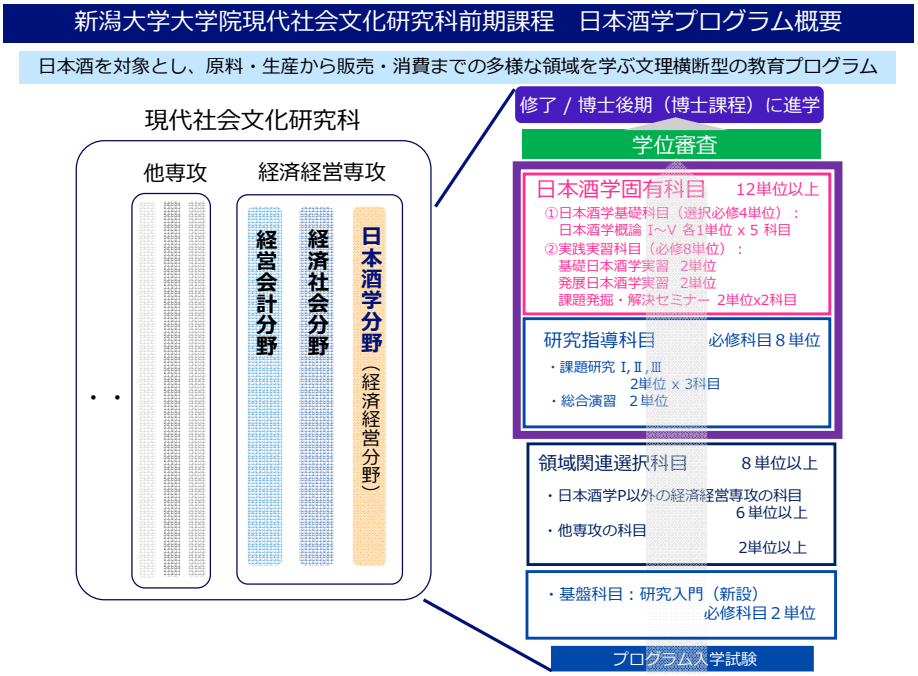
現代社会文化研究科　経済経営専攻　日本酒学分野（日本酒学プログラム）の概要

日本酒学プログラムは、日本酒を対象とし多様な領域を学ぶ文理融合型の教育プログラムです。日本酒という対象を共通の軸として、自らの専門領域に加え、日本酒の原料・生産から販売・消費まで、さらには文化や歴史・伝統、健康に至るまでの幅広い多様な異なる領域を俯瞰した内容で教育研究を行います。自らの専門領域の知識・技術については日本酒学プログラムが設置される専攻の科目により修得し、日本酒を軸とした幅広い知識と日本酒の基礎知識については日本酒学固有科目によって修得します。さらに、課題発掘・解決セミナーにより領域横断的な課題追求力と問題解決能力を修得します。それらによって「文系・理系」という学問的区分にとらわれず、領域横断的な知識力と発想力をもった、イノベーション創出の中核となる文理融合型人材を養成します。
なお、博士後期課程の日本酒学プログラムも計画中です。

現代社会文化研究科博士前期課程令和４年度（第２次募集）選抜の受験者は指導（予定）教員と相談の上，経済経営専攻の既存の分野「経営会計分野」,「経済社会分野」のいずれかを受験して下さい。令和４年度第１次募集により経済経営専攻の各分野に合格した者には別途案内します。令和５年度入学者選抜から日本酒学コース独自の入試を実施します。



- 日本酒学固有科目は、新潟大学大学院自然科学研究科に設置する「日本酒学プログラム」との共通科目であり、文理融合のオムニバス形式の講義、日本酒の造りを学ぶ実習、文理融合のセミナーから構成されます。
- 研究・演習科目は、日本酒（日本酒学）に関連する研究演習となります。